

兼松サステック(東京都、高崎實社長)シオテック事業部が参加する環境パイル(S)工法協会(東京都)は、累積施工1万8000棟を超えた同工法のさらなる普及のため、今年から新たに準会員制度を開始した。

同協会はこれまで、

資材提供を行う正会員と、施工を行う本会員で構成されていた。しかし、同工法を普及していくため、本会員の推薦を受けた企業が会員となれる準会員制度を設けた。

これまで会員になるには施工重機を設備するなどのハードルがあ

# 新たに準会員制度設ける

## 参加企業拡大で工法の普及促進目指す

環境パイル(S)工法協会

った。しかし、他工法と差別化が図れる同工法への関心は高く、協会への参加を希望する

企業は多かった。これに定める形で、今回準会員制度が設けられた。既に準会員として

環境パイル工法を採用してもらえよう、活動を活発化させていく。現在、大手ハウスメ

21社の参加が決定している。

これにより同協会は35社となる。組織の拡大で、今後地方でも環

ーカーや地域ビルダー、公共建築物などの中大規模木構造建設で同工法採用の動きが高まっており、今後の利用拡大が見込まれる。

兼松サステックも防腐蚀理事業の協力企業を増やしており、需要増加にも応じられる体制を整えている。

環境パイル工法に関する問い合わせは、環境パイル(S)工法協会事務局(電話03・6631・6565)まで。